

平成30年度使用

小学校教科用図書（道徳）研究報告書

教科用図書研究委員会

東京書籍株式会社	1
学校図書株式会社	2
教育出版株式会社	3
光村図書出版株式会社	4
日本文教出版株式会社	5
株式会社光文書院	6
株式会社学研教育みらい	7
廣済堂あかつき株式会社	8

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■ ■■
--------	--------	----------------

発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
--------	---	--------	-----

特徴・特筆すべき事項

- ・ 巻頭に、教材掲載順の目次と4つの視点で分類した目次（1年間で学ぶこと）の2種類のものが提示されており、児童にも何を学ぶのか分かりやすい。
- ・ 教材冒頭に主題名を示すことで、考える価値が明確となり、ゴールの姿がぶれないように工夫されている。
- ・ 巻末に、振り返りページの欄が設けられており、児童が自分の成長を実感できるようになっている。
- ・ 3年生以上では、「問題を見つけて考える」教材が掲載され、問題解決的な学習課程が示されていることで、他の教材で問題解決の授業展開へ応用しやすくなっている。
- ・ 「出会う・ふれ合う」のコーナーでは、学習した教材と関連したコミュニケーション活動が設定されているため、児童が自分の行いについて振り返ることができる。
- ・ いじめに関して教材（問題を投げかける扉ページ、直接的教材、間接的教材）を組み合わせた形式になっており、いじめ防止の効果が高められるようになっている。
- ・ 「じょうほうモラル」ページでは、コラム的な取扱いではなく、読み物教材として学習できる内容になっている。
- ・ 3年生以上では、巻末の「つながる ひろがる」ページが掲載されており、教科での学びを想起しながら考えを深めることが出来るように工夫されている。
- ・ 巻末の、学期末ごとの学習の振り返り欄を活用し、児童に自分自身の学習を振り返らせることで成長を実感させることができる。またそれは、指導の効果が分かることから評価にも役立たせることができる。
- ・ 教材本文のページに余計な情報が少なく、本文に集中して読めるページになっている。

以上の理由により教科書として極めてふさわしい。

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■■■■■
--------	--------	-----------------

発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
--------	----	--------	-----

特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・[読みもの]の教材本文のページに余計な情報が少なく、児童が本文に集中して読めるページになっている。 ・「読みものコラム」では、生命尊重・情報モラル等の今日的課題が取り上げられており工夫されている。 ・「活動」に、家庭・地域と連携した道徳の授業が展開できるよう、保護者や地域の方々へのインタビューや話し合う活動例が示されている。 ・「活動」には、発問（考える視点）や役割演技などの言語活動例が示されており、問題解決的な学習や体験学習などを促す構成になっている。 ・「活動」に、教材と関連した資料があり、物事を多面的・多角的に考えられるようになっている。 ・「活動」の左ページに、主題と関連した資料が載せてあり、物事を多面的・多角的に考えることが出来るように工夫されている。 ・「活動」では、授業の進め方が明確に示されているが、教師の裁量の幅が制限されないように工夫すると良い。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>
------------	---

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■■■■■
--------	--------	-----------------

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
--------	----	--------	----

特徴・特筆すべき事項

- ・教材冒頭では、教材を通して考える視点が、教材末尾の「学びの手引き」では、問いかけが示されているのが分りやすい。
- ・教材末の「学びの手引き」に発問（問いかけ）がある。教材に繋がる問い、道徳的価値に関する問いなど、授業展開に沿って価値を深めることができる問いとなっている。「学びの手引き」の中の「ジャンプ」では、役割演技をしながら考えることができる活動例が示されている。
- ・「スキル」で、体験的学習ができる教材があり、役割演技や実際に行動を促す場面が設けられている。
- ・「モラルスキルトレーニング」のページでは、児童を取り巻く様々な社会的・教育的課題が取り上げている。特に、いじめ問題や情報モラルについての学習を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように工夫されている。
- ・巻末に、補助教材として、「こころざしをもって」「国や郷土を愛する」等の視点を基に、読み物が掲載されている。他教科との発展や考えを深めることに有効である。
- ・巻頭と巻末に、それぞれ「道徳開き」「ふり返り」のページを設け、今の自分を知り確かな目標をもって主体的に学びを進め、一年間での心の変容を見取ること、さらによりよく生きる意欲をもたせる工夫がされている。
- ・巻末に補充教材が5本あるが、本教材そのものが全部で29本しかなく、年間35時間ということ考えると、本教材を35本用意し、なおかつ補充教材も用意するというように工夫すると良い。

以上の理由により教科書として概ね良い。

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■■ ■■■
--------	--------	------------------

発行者の番号	38	発行者の略称	光 村
--------	----	--------	-----

特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教材毎に「考えよう」や「つなげよう」があり、日記・キャッチコピー・手紙などの多様な言語活動例や、保護者との話し合いを促す活動例が示されているため、学習のゴールが分かりやすい。 ・2年以上の教材末の「つなげよう」では、教材に関連した図書が掲載されているため、教材を通して学んだことを深めることができるように工夫されている。 ・1年間の成長を考慮して4つのまとまりに分けられている。学校行事を考慮した教材が配置されている。 ・教材とコラムを組み合わせ、「いじめ問題」について多面的に考えられるようになっている。 ・学習のまとまりごとに、「学びの記録」に各時間で学んだことを記録するとともに、これまでをふり返って記入するまとめの欄が設けられているため、ふり返りがしやすい。 ・B5サイズを採用しているため、教科書とノート（各学級で用意するもの）の両方を、同時に机の上に広げやすい。 ・文字がやや小さいので、もう少し大きくし、読みやすいように工夫するとよい。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>
------------	--

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■■ ■■■
--------	--------	------------------

発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
--------	-----	--------	-----

特徴・特筆すべき事項

- ・ 巻頭に、オリエンテーションのページを設け、話し合い活動や動作化、書く活動等の大切なポイントを示し、言語活動の充実を図るように工夫されている。
- ・ 教材冒頭に、主題名と短いあらすじが示されており、教材の内容と考える視点が意識できるように工夫されている。
- ・ 教科書の巻頭「道徳の学び方」には、「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」のコーナーを設け、言語活動の具体的な姿が写真と吹き出しで示されているため、視覚的に捉えやすい。
- ・ 「学習の手引き」に、登場人物になりきって考えたり役割演技で考えたりできる場面が設けられており、分かりやすい。
- ・ 学校行事他教科との関連を考慮した教材配列になっていることで、教育活動全体を貫く要としての道徳科の特性を生かせるようになっている。
- ・ 問題解決的な学習方法を想定した教材と、教材のあとに「学習の手引き」を挿入し、「問題把握」→「自力解決」→「集団検討」→「まとめ」の手順や方法が分かりやすく示されており、児童の学習の参考となるように工夫されている。
- ・ 「道徳ノート」には、学習を振り返り自らの気づきを記入する欄が設けられており、活用しやすい。また巻末には、家の人から一言書いてもらう欄を設け、保護者との連携を考えている。
- ・ 他教科の学習へつなげたり、学校生活、日常生活での自分の行動への意識づけができたりするように、「心のベンチ」が設定されているのが活用しやすい。

以上の理由により教科書としてかなり良い。

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■■ ■■■
--------	--------	------------------

発行者の番号	208	発行者の略称	光文
--------	-----	--------	----

特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭「この本の使い方」「どうとくのじかんはこんなじかんです」では、書くことの言語活動の充実を図ることができるよう、大切なポイントや具体的な書き方を示した道徳のノート例が示されており、学習の手順が分かりやすい。 ・ 教材の冒頭で、本時のめあてや教材の下段に吹だしによる問いを配置することで、児童が問題意識をもって学習に取り組めるように工夫されている。展開の工夫として、教材の下にキャラクターの吹き出しで、多面的・多角的に考えることができるような投げかけがされている。 ・ 全学年で、コラム「みんなでやってみよう！」を配置し、よりよい人間関係を築くことができるようグループワークが提示されているため、体験を通して学ぶことができ活用しやすい。 ・ 巻末折り込みに「学びの足あと」を設け、毎時間の記録を書く欄と、授業後の気持ちを「心の矢印」で表す欄が設けられているため、学習の足跡を分かりやすく記入することができる。 ・ いじめ防止について、教材とコラム「みんな仲良し楽しい学校」が配置され充実している。 ・ 日本の伝統文化やきまりの意識、生命の尊重などを重点とする内容項目については、教材を複数時間扱いで学習できるように工夫した構成となっている。 ・ 教科書がやや大きいためか、他社よりも重いので、工夫するとよい。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>
------------	---

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■■ ■■■
--------	--------	------------------

発行者の番号	224	発行者の略称	学 研
--------	-----	--------	-----

特徴・特筆すべき事項

- ・ 巻頭に、教材掲載順の目次と4つの視点で分類した目次の2種類のものが提示されており、児童にも何を学ぶのか分かりやすい。
- ・ 「深めよう」のコーナーでは、道徳的価値について、多面的・多角的に学び、「考え、議論する」ための具体的な問いが用意されている。
- ・ 「やってみよう」のコーナーでは、教材で学習したことに関連して、役割演技、挨拶リレー、手話等の体験を通して、感じ方や考え方の違いを話し合う活動が設定され、工夫されている。
- ・ 「つなげよう」「広げよう」で教材に関連する情報や資料が紹介されており、教材に対する理解を深めたり視野を広げたり出来るように工夫されている。
- ・ 最重点テーマを「いのちの教育」とし、低学年は「しっかり生きる」、中学年は「仲よく生きる」、高学年は「よりよく生きる」としており、学年ごとに、発達段階に応じた重点テーマを設定し、教材を配置している。
- ・ 巻末に、他の教科等との関連についての一覧が掲載されており、他教科と連携した道徳の学習が行いやすいよう工夫されている。
- ・ 「これが今のわたし」のページがあり、毎年、前年度の自分と比較し、自己の成長を実感することができる。
- ・ A4サイズと、他社よりも大きい教科書サイズだが、机の大きさに問題となるのは横幅であり、多くの教科書会社が、横幅のみがA4サイズであるABサイズであることを考えると、むしろA4サイズの方が有効だと考えられる。サイズアップによる重量増も、かなり抑えられている。
- ・ 3年生の教科書では、天の川の雄大な写真がA4サイズ一杯に印刷されているなど、大きな紙面を利用した迫力のある構成のページがあり、すばらしい。

以上の理由により教科書としてかなり良い。

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）研究報告書

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名 ■■ ■■
--------	--------	----------------

発行者の番号	232	発行者の略称	廣あかつき
--------	-----	--------	-------

特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、目次とは別に、教材文と内容項目との関連が分かるように、4つの視点とキーワード別に整理されて提示されており、児童にも分かりやすい。 ・ 「道徳ノート」の「話し方、聞き方名人を目指そう」ページに、のぞましい話し方聞き方チェック表があり、「考え、議論する」ために有効である。 ・ 「道徳ノート」は、内容項目毎に見開き2ページ構成で、右は内容項目の解説、左は感想が記入でき、工夫されている。 ・ 「道徳ノート」には、心に残ったことや考えたことを書き留めることができるようになっている。比較的自由度が高く、活用しやすいものになっている。 ・ 「考えよう話し合おう」の問いをもとに、「自分が自分に自分を問う」ことを通して、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 ・ 教材末の「考えよう話し合おう」の「学習の道すじ」に、問題の解決を図るための問いが示されているため、学習の手順が分かりやすく、何について考えるのが理解しやすい。 ・ 「道徳ノート」の巻末に、保護者記入欄のある「心のしおり」があるが、切り取って1年間使うには強度に不安があるので、工夫すると良い。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>
------------	--